



花さき山

タイトル文字: 滝平二郎



育児コンシェルジュ

明野図書館では毎週、
火曜・木曜 10:00~14:30

上記の時間、お母さんやお父さんが図書館でゆっくり本を選べるように、育児コンシェルジュがサポートします！簡単な子育て相談もできますよ♪

フックスタートクラブ

毎週水曜日は視聴覚室開放 day♪

☆幼児向けおはなし会☆

10月11日、25日 ⇒10:00~
18日 ⇒11:00~

☆10月のおはなし会☆

10月7日(土)と15日(日)
11:00~11:30

明野図書館 児童室でお待ちしてます！

音読会

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：10月10日(火)
11:00~12:00

気軽に発声練習してみませんか？

大人向けの音読会です。

もちろんお子さんも参加できますよ☆

10月のテーマは、『オペラ』！



おりがみで壁デコ！

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：10月29日(日)
11:00~12:00

みんなで一緒におりがみを

折りましょう☆

お申込不要。大人の方もぜひどうぞ！



10月はこども向け映画会

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：10月21日(土) 10:30~

内容：・上映「かぐやひめ ほか」

(上映時間：30分)

・紙芝居の読み聞かせ

※お申込不要です。無料でご覧いただけます。

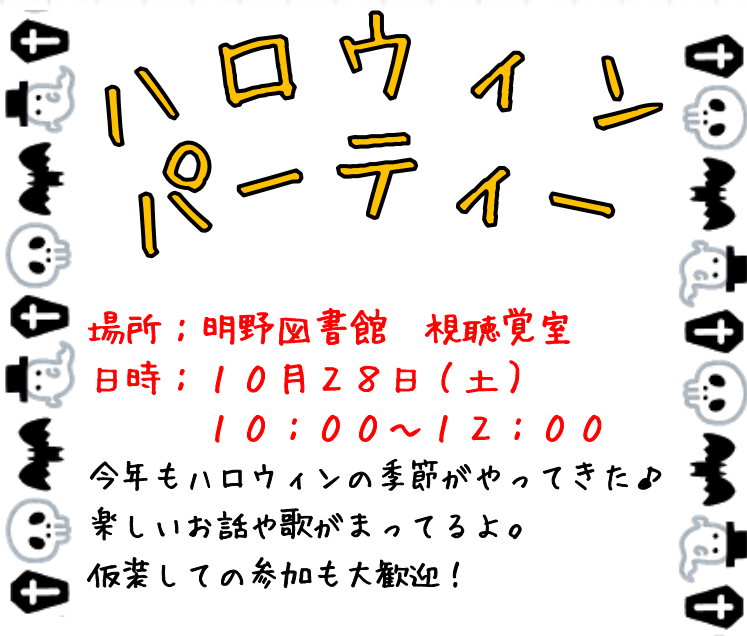


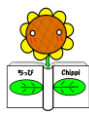
《10月の特集コーナー》

場所：明野図書館 カウンター前

「特集コーナー」

テーマは「家」 チェックを忘れずに！





児童虐待を考える ～なぜ増加する児童相談所対応最多 12.2 万件～

小島 毅

全国の児童相談所が 2016 年度に対応した児童虐待の件数は 12 万 2578 件で、前年度より 1 万 9292 件(18.7%)増えています(朝日新聞 8/17 夕刊)。統計を取り始めた 90 年度から 26 年連続で過去最多を記録しています。

これは重大な社会現象ではないか。法改正があって、一般の私たちにも虐待を見つけたら通告の義務が生じたこと。人権や児童福祉の関心が高まり虐待への関心が高まったことなどが、増加率を高めている一因だと言われています。しかし、26 年連続過去最多の記録を更新するほどの増加率は異常です。

社会そのものの在り方が正常な生き方ができないほど、軋(きし)みを立ててゆがみ始まっているのではないか。経済的豊かさを求めてきた私たちは、競争社会の中で、何かを喪失してきたのかもしれない。所得格差や労働格差の底辺に沈み支援の枠から外れてしまう人たちが増えているのではないか。

虐待の内容

虐待の内容	発生件数	昨年比
心理的虐待	6 万 3,187 件	+1 万 4,487 件
身体的虐待	3 万 1,927 件	+3,306 件
ネグレクト	2 万 5,842 件	+1,398 件
性的虐待	1,622 件	+101 件

こうして見ると心理的虐待が全体の 51.5%を占めています。

どうしてこんなに児童虐待が増加していくのか。児童が健全に育つ社会環境が育たない社会に希望は持てません。児童虐待が増えていく原因には、さまざまな要因が考えられるが、一つには家族の養育機能の低下を挙げることができるでしょう。大家族制度が崩壊し、核家族化が増えたことも原因の一つです。

具体的には次のようなことが考えられます。

- 妊娠先行結婚(出来ちゃった婚)の増加と離婚率の高さ、および全般的な離婚率の上昇
- 10 代の母親の出産の増加 ●若年母子家庭の増加 ●母子家庭の貧困率の高さ

虐待の動機について考えてみましょう。

- 一、保護を怠った。(ネグレクト) 二、しつけのつもり
- 三、子どもの存在の拒否・否定。 四、泣きやまないことへのいらだち。

このような動機を持つに至った遠因として「予期しない妊娠だった」ことを挙げた母親が 34.6%にも上がっていることは、大きな問題です。社会の仕組みからこぼれてしまう人を、「自己責任」という概念で見捨ててしまえば、この社会はますます衰退していってしまうでしょう。こぼれてしまう人を救う手立てや仕組みが必要かと思えます。厚労省は虐待児などの支援策として、里親制度の積極的導入を推進し、5年から7年で里親への委託率を大幅に増やすことを検討しています。少子高齢社会・人口減少傾向の中で、多くの子どもがより家庭に近い状況で暮らせる環境づくりを検討しています。児童たちの健全な育成環境の一日も早い構築が望まれます。

(おじま たけし/社会福祉士)